

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【公開番号】特開2013-22310(P2013-22310A)

【公開日】平成25年2月4日(2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-006

【出願番号】特願2011-161112(P2011-161112)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

A 6 1 M 1/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 M 1/14 5 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月16日(2014.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【図1】図1は人工透析装置の概略図である。(http://www.medi-net.or.jp/tcnet/dtx/004.htmより転載)

【図2】図2(a)はダイアライザーの概略図(http://www.nininkai.com/kiso.htmより転載)であり、図2(b)はダイアライザーの機能を示す概略図(http://mobara-cl.com/hemo_dialysis/hemo_dialysis.htmより転載)である。

【図3】図3は一対の(2端子の)電極を有する血液インピーダンス測定装置の概略図である。

【図4】図4(a)は接触モデルの等価回路図であり、図4(b)は非接触モデルの等価回路図である。

【図5】図5は生体組織のモデル図である。

【図6】図6は、低張液、全血及び高張液についてのコールコールプロットである。

【図7】図7は接触型血液セルの概略図である。

【図8】図8(a)は、接触型血液セルについての|Z|の測定結果であり、図8(b)は、非接触型血液セルについての|Z|の測定結果である。

【図9】図9(a)は、測定されたインピーダンスの実部をプロットしたグラフであり、図9(b)は、測定されたインピーダンスの虚部をプロットしたグラフである。

【図10】図10は4端子電極を有する血液インピーダンス測定装置の概略図である。

【図11】図11は薄型チャンバの概略図である。

【図12】図12は同心型電極を有する薄型チャンバの概略図である。

【図13】図13は、本発明に係るインピーダンス測定方法を示すフローチャートである。